平成29年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

評価 A:十分できている B:概ね十分できている C:やや不十分 D:不十分 E:評価できない

分 野	評価項目		評価の観点	評価	音曲 A: 千分できている B: 概ね千分できている C: ややイナ分 D: イナ分 E: 評価できない 今後やるべきこと、実施に当たっての問題点
	授業内容の充実	1	授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を	В	・苦手な生徒と得意な生徒の両方の意欲を満たしていく工夫をお願いしたい。
学習指	教科指導力の 向上	3	工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。		・授業ごとに評価をしてほしい。
			研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をして いるか。アクティブラーニングの手法を試みているか。	С	・生徒が主体的に取り組む授業を目指してほしい。 ・他の先生方の授業を参観し、まずは「観る」力をつけてほしい。
			各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自で 分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。		・個々の生徒の学力に応じた授業をどうしていくのかが課題。
				С.	・どの学力層を底上げするのかを考え、教科間の連携を図ってほしい。
					・面談をする時間的な余裕を生み出す工夫をしてほしい。
	学習習慣の確立 と自主的な学び への導き	5	(学級担任として)生徒の学習状況・学習時間を把握し、 面接によって個々に即した適切な助言をしているか。		・個別対応のきめ細かさの徹底してほしい。
導			(教科担当として)学力や時期に応じて質的・量的に適切な 課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。	С	・課題を出さなかったり学習への取り組みが甘いなどの生徒への指導方法を工夫してほしい。
			生徒のタブレットPC利用を促すような 学びの課題や		・子どもの立場で「知りたい」「学びたい」と思う事柄を考えてほしい。
			機会を、工夫して提供しているか。	С	・知的好奇心をゆさぶるような学びの場になるよう努力を。
進	希望進路の実現	7	学級担任・教科担当として3年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。	В	・長聖中学と長聖高校の先生間での情報交換を活発にしてほしい。
路					・全職員が中高両方を経験すると良い。
指	新しい時代を展望	Q	社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会と	В	・卒業生の話を聞けるような機会があれば良いと思う。
導	できる進路指導	J	してのキャリア教育を、計画し、実施しているか。		・その道で活躍している社会人の話を聞くこともよいのでは。
	自律的生活の育成	9	服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。 モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。	С	・学年によって差を感じる。・学年・学級での指導が必要。
					・教職員間での見解の相違がないよう統一した基準が必要。
生	生徒相談といじめ の発見・対処	10	担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係等が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。	В	・学年で対応した館生の情報は共有できていない部分があるので連携を密にしてほしい。
					・相手のことを思いやって行動できる生徒を育ててほしい。
活			現在の「いじめ」の定義(注)に基づいていじめを認知 し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。	В	・いじめに関するアンケートについて更なる改善が必要。
1					・表に出て来ないようないじめにもアンテナを高くしえてほしい。
指	安心・安全を守る 指導、安全を考え・ させる指導	12	校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を 防止できているか。	В	・館の外側の安全の配慮が必要と考える。
\ 					・緊急時の行動をより確かにしていく必要がある。
導			校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブル の回避も含む)についての指導をしているか。	В	・定期的にインターネットの使い方を注意する講話が必要。
	開かれた学校づくり	15	保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なこと には、すばやく、的確に対応しているか。	В	・提出期限のあるものについてはオクレンジャーで知らせるなど工夫してほしい。
開か					・校外巡視を検討すべき。
かれた学			電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者 や一般に向けて、定期的に提供しているか。	В	・さらに回数を増やしていく必要がある。
					・電子媒体による発信を増やしてほしい。
· 校		16	地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に	В	・生徒の希望進路に合わせた職場体験ができればよい。
			提供しているか。学校として交流に寄与しているか。		・地域の方々、他の団体との交流を学校全体で考えていってほしい。

⁽注)一定の人的関係がある生徒の中で、一方が他方に心理的・物理的な影響を与える行為をして、対象となった生徒が心身の苦痛を感じていること。

一時的なものや謝罪して解決したものも、「いじめであった」と考える。